日本共産党 県議会議員

安藤はるみ

プロフィール ●１９５２年生まれ。東京都立練馬高等保母学院卒。保母として10年。●弘前市議３期。現在県議３期。党県常任委員。●民主文学弘前支部長。憲法９条つがる女性の会代表。核燃だまっちゃおられん津軽の会副代表。●清原４丁目在住。

子どもの未来・いのちを守る

安藤県議の原点

保育士として働き、子どものしあわせ・命を守る思いが安藤県議の原点です。市議・県議として、お母さんたちと一緒に子どもの医療費無料化の運動をすすめてきました。

安倍改憲ノー！ ９条をそのまま次の世代へ

安倍政権は「二度と戦争はしない」と決意した憲法９条を変えようとしています。絶対にゆるせません。「平和を子どもたちに手渡したい」「９条改憲ノー」と連日行動しています。

弘前で憲法守る県議は安藤はるみさんです。

津軽保健生活協同組合
健生病院院長
伊藤真弘

弘前市で「憲法９条を守る」とキッパリ言える県議の議席が絶対に必要です。安藤はるみさんに期待します。

津軽の声をまっすぐ県政に

コメとりんごをまもる、原発ゼロ、安心の医療・福祉、歩道・通学路の安全、洪水対策…。津軽の住民の願いを県政に届けてきました。この４年間の質問回数は 457 回と他会派議員と比べてもダントツです。

民報つがる
2018・2019年 号外 日本共産党の活動を紹介します。
発行：日本共産党津軽地区委員会 電話 0172−34−4127

貧困の連鎖なくそう

貧困の連鎖を防ぐ手立てを求め、生活困窮世帯の子供達への学習支援事業が拡大。返還免除型奨学金も新設されました。

本会議場で

子どもの命をまもって

就学前の子ども医療費の所得制限が大幅に緩和。母子医療センターに障害をもつ子どもへの継続的な支援をおこなう成育科が新設されました。

母子医療センターを訪問・懇談

県民と力をあわせ、新しい政治をつくる

りんご園で紙智子参院議員(右)と

安藤はるみ

県会議員

日本共産党

憲法が生きる社会を

憲法９条つがる女性の会の代表として運動をひろげています。

イトーヨーカドー前でアピール

津軽の農業をまもる

りんご黒星病問題で紙智子参院議員と現地調査し、りんご協会やりんご研究所と懇談。県や国に対策を求めました。

働く環境整備へ

ブラックバイトから学生をまもる対策、障害者雇用の拡充、倒産による失業対策を求めてきました。

住みよい地域へ

雨が降ると歩けなかった弘前大清水保育園正門前の歩道工事が完了。

安藤はるみのゆずれない3つの大切

お年寄り、若者、障害者…

①一人ひとりが大切にされる社会を

「誰もが人として大切にされ、希望をもてる社会を」…この思いで、医療・介護、子育て、雇用問題にとりくんできました。

②力をあわせて政治を動かします

「国民が主人公」「住民の苦難解決」が共産党の根本精神です。農業・経済団体はじめ各界のみなさんと力をあわせます。

③不正・人権侵害や差別は許さない

ウソ・隠ぺい・差別、個人の尊厳を否定する政権・政治家は退陣させましょう。

私達も力をあわせてがんばります！

参院議員 紙　智子

党県書記長 さいとうみお

衆院議員 高橋千鶴子

弘前市議 こし明男

弘前市議 石田　久

弘前市議 千葉こうき